



長時間労働抑止システムChronowis システム連携オプションについて

2025年06月13日

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社
オフィスソリューション営業部

Chronowisにおけるシステム連携（勤怠システム→Chronowis）

Chronowisにおける、勤怠システムからChronowisへのデータ連携は下記3パターンで実現可能

データ連携パターン

- 1. 勤怠実績データ** … 勤怠実績とPC利用実績をChronowis上で併記し、一定以上の乖離があった場合、上司へアラート
※勤怠実績のデータで月間残業実績を補正することも可能
- 2. 勤務予定データ** … 個人ごとのシフト勤務予定を取り込み、勤務時間・勤務日がバラバラなユーザも勤務時間を基準とした抑止が可能
※年休/休出データのみを連携することも可能
- 3. 残業承認データ** … 勤怠システムで承認済みの時間帯はPC利用抑止を解除
※二重申請を回避

連携方法

- ・勤怠システムからダウンロードしたCSVファイルを、サーバツール（API実行バッチ）にてChronowisクラウドサーバへアップロード・取り込みを行う。
- ・ChronowisWEBアプリからの手動取込も可能。

Chronowisにおけるシステム連携（Chronowis→勤怠システム）

Chronowisから勤怠システムへのデータ出力は下記

Chronowisから出力したデータを勤怠システムへ取り込み、活用いただく

データ出力ファイル

1. 日別申請実績データ… 日々のPC利用実績および時間外利用申請情報のデータ（1ファイル）

- ※同日中の申請が複数存在した場合、複数行出力される
- ※出力フォーマット固定

連携方法

- ・サーバツール（API実行バッチ）にて、CSVファイルをダウンロードし、そのファイルを勤怠システムへ取り込む
- ・ChronowisWEBアプリからの手動ダウンロードも可能。

Chronowisにおけるシステム連携（人事情報システム→ Chronowis）

Chronowisにおける、人事情報システムからChronowisへのデータ連携は下記

データ連携パターン

- 1. ユーザー情報データ** … 人事システムのユーザー情報をChronowisのユーザ情報マスターへ連携。役職、所属情報、承認者情報なども連携し、二重管理を回避。
- 2. 承認者情報データ** … ユーザー情報のうち、承認者情報だけの連携。
※上司・部下の関係性のみの連携、更新が可能

連携方法

- ・勤怠システムからダウンロードしたCSVファイルを、サーバツール（API実行バッチ）にてChronowisクラウドサーバへアップロード・取り込みを行う。
- ・ChronowisWEBアプリからの手動取込も可能。

各システムとの基本的な連携機能は標準機能としてご利用いただけます。

(標準価格に含まれます)

前提条件

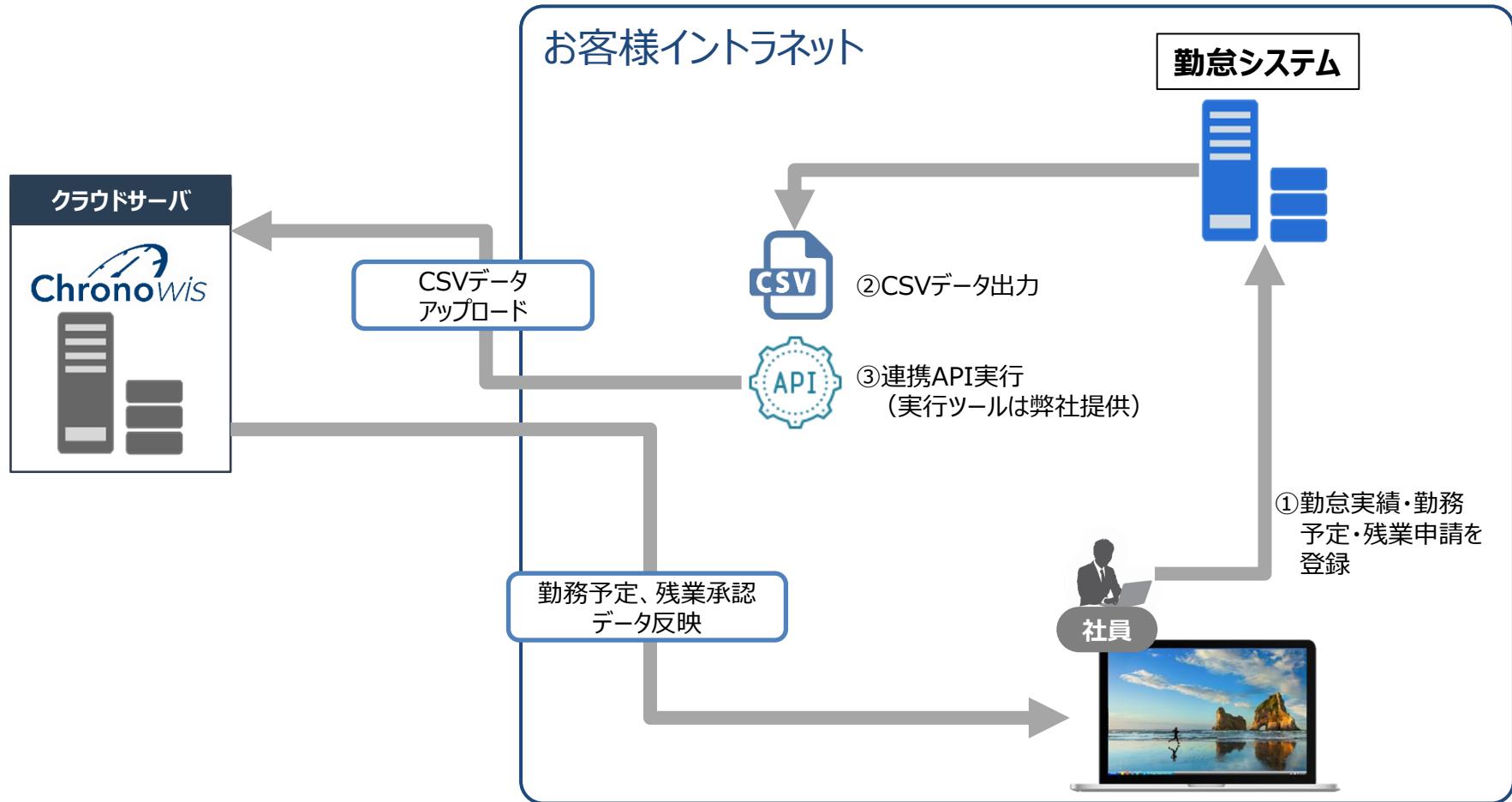
- ・各連携それぞれ 1 ~ 2回/日 程度までの実施
- ・弊社標準フォーマット

提供物

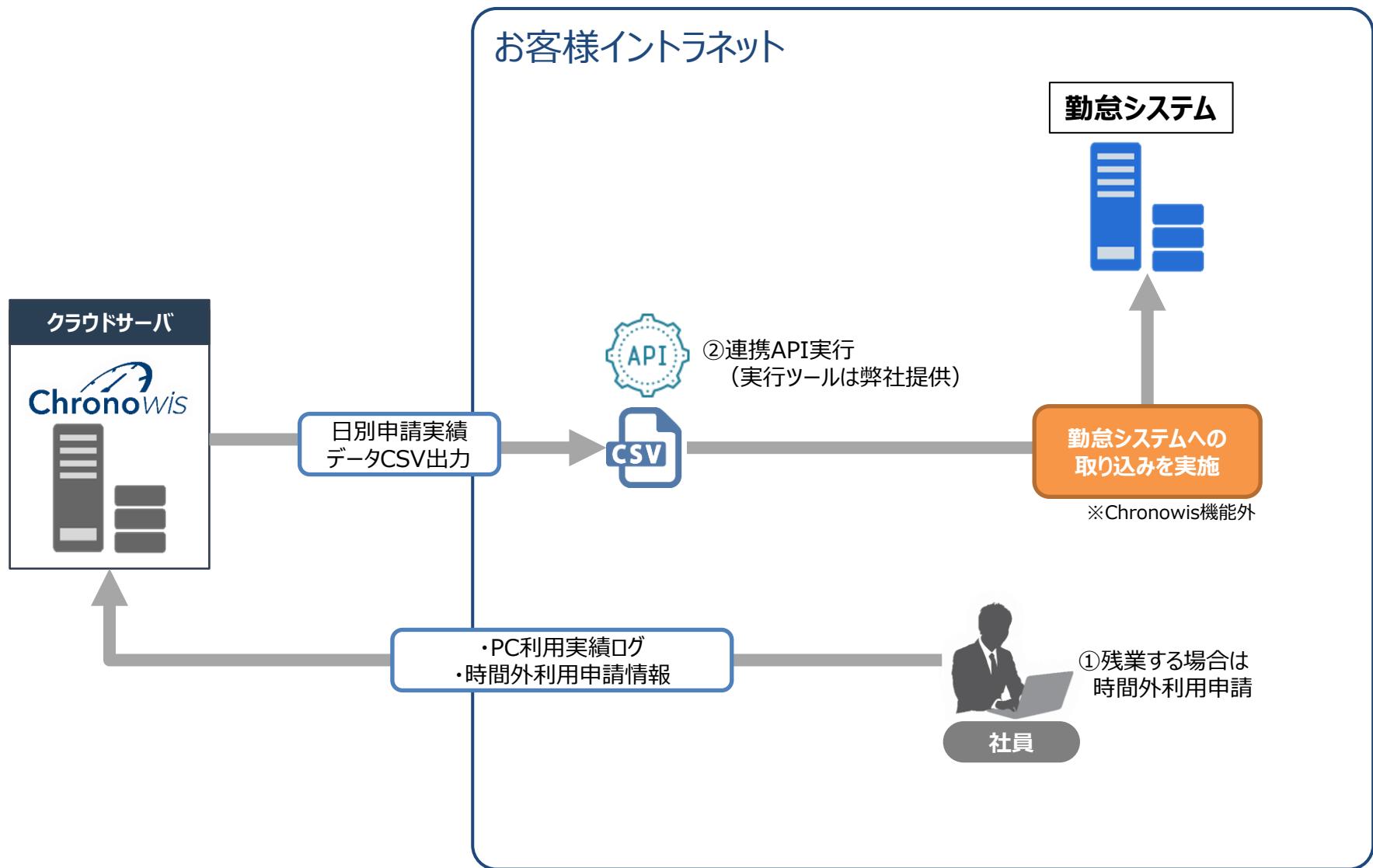
- ・連携用のサーバツール（API実行バッチ）
- ・サーバツールマニュアル
- ・サーバツールクイックガイド

勤怠システム→Chronowis 連携イメージ

CSVデータ出力、連携API実行をスケジュール実行することで
定期自動連携が実現可能



Chronowis→勤怠システム 日別申請実績データの連携イメージ



補足：勤怠システム連携ファイルフォーマット

連携用の標準データフォーマットはそれぞれ次の通り

※有償オプションでChronowisの設定ファイルにて取込対象列を指定（項目マッピング）でき、勤怠システムの出力フォーマットに合わせて取り込みが可能

1. 勤怠実績データの連携フォーマット

■入退門勤怠情報標準フォーマット

入力項目	ユーザーID	年月日	入門時刻	退門時刻	勤務開始時刻	勤務終了時刻	超勤時間(累計)	最終入力日付	勤務時間	超勤時間(日単位)
フォーマット		yyyy/MM/dd	hh:mm	hh:mm	hh:mm	hh:mm	##.##	yyyy/MM/dd	##.##	##.##
必須	○	○					※1		※1	※1
サンプル	0123456	2024/10/01	08:54	18:51	09:00	18:45	5	2024/10/01	8.75	1

※1 パラメータ「残業時間/稼働時間の勤怠データ補正」に「1：利用する」を指定している場合、いずれかが必須

対応フォーマット：
「8.75（時間）」、「525（分）」、「8:45」

サンプルデータ（1行目はタイトル行）

```
"ユーザーID","年月日","入門時刻","退門時刻","勤怠開始時刻","勤怠終了時刻","超勤時間(累計)","最終入力日付","勤務時間","超勤時間(日単位)"  
"test001","2019/11/01","08:00","20:00","09:00","19:00","2","2019/11/01","8.75","1"  
"test001","2019/11/02","08:00","20:00","09:00","19:00","2","2019/11/02","8.75","1"
```

補足：勤怠システム連携ファイルフォーマット

2. 勤務予定データの連携フォーマット

■シフト勤務情報標準フォーマット

項目	ユーザーID	日付	休日フラグ	シフト勤務 開始時刻	シフト勤務 終了時刻	所定労働時間 [時間]	休憩時間[分]	日付変更 時刻
フォーマット		yyyy/MM/dd	0 or 1	hh:mm	hh:mm	##.##	##	hh:mm
必須	○	○	○	○	○	休憩時間を指定 しない場合必須	所定労働時間を指 定しない場合必須	○
サンプル	0123456	2024/12/01	0	09:00	17:30	7.5	45	05:00

対応フォーマット：
「7.5（時間）」、「450（分）」、「7:30」

対応フォーマット：
「0.75（時間）」、「45（分）」

■年休情報標準フォーマット

項目	ユーザーID	日付	勤務区分
フォーマット		yyyy/MM/dd	“休日”
必須	○	○	○
サンプル	0123456	2024/12/01	休日

※年休情報と休出情報はそれぞれ個別に取り込む必要があります。
標準フォーマットは共通です。

■休出情報標準フォーマット

項目	ユーザーID	日付	勤務区分
フォーマット		yyyy/MM/dd	“平日”
必須	○	○	○
サンプル	0123456	2024/12/01	平日

勤務区分の指定文字列は変更可能
(正規表現も対応)

勤務区分の指定文字列は変更可能
(正規表現も対応)

補足：勤怠システム連携ファイルフォーマット

3. 残業承認データの連携フォーマット

■ 残業申請情報標準フォーマット

項目	ユーザーID	日付	残業開始時刻	残業終了時刻
フォーマット		yyyy/MM/dd	hh:mm	hh:mm
必須	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
サンプル	0123456	2024/12/01	18:00	20:00

※残業申請情報で登録された情報はクライアントで承認済みの申請データとして扱う

補足：日別申請実績データフォーマット (CSV出力フォーマット)

<出力データフォーマット>

No.	カラム名	値(例)	説明
1	ユーザーID	tsUser	
2	日付	2022/05/10	yyyy/MM/dd
3	PC 利用申請開始	09:00	HH:mm または空白
4	PC 利用申請終了	17:00	HH:mm または空白
5	氏名	山田 太郎	
6	所属	システム部 SI 課	
7	ステータス	未承認	未承認、承認済、否認済のいずれか
8	PC 利用実績開始	09:00	HH:mm または空白
9	PC 利用実績終了	17:00	HH:mm または空白
10	PC 稼働時間	8	未設定時は空白
11	PC 利用理由	年度末のため	
12	緊急申請	●	●または空白
13	入門時間	09:00	HH:mm または空白
14	退門時間	17:00	HH:mm または空白
15	勤務開始時間	09:00	HH:mm または空白
16	勤務終了時間	17:00	HH:mm または空白
17	勤務時間	8	未設定時は空白
18	時刻差異	●	●または空白
19	時刻変更	●	●または空白
20	PC 稼働・勤務差異あり	●	●または空白
21	シフト勤務開始時間	09:00	HH:mm または空白 ※1
22	シフト勤務終了時間	17:00	HH:mm または空白 ※1
23	承認者ユーザーID		未承認時は空白
24	承認者氏名		未承認時は空白 ※2
25	承認者所属		未承認時は空白
26	備考		ユーザー情報の備考 未設定の場合は空白

※1 : システム設定【シフト勤務機能】が「利用する」場合にカラムが出力されます。

- ※2 : 申請先が人事担当の場合、「人事担当」固定で出力されます。|

<出力ファイル形式>

項目名	説明
ファイル名	useage_yyyyMMddHHmmss.csv
エンコード	MS932
改行コード	CRLF
区切り文字	カンマ (,)
文字囲み	ダブルコーテーション ("")
ソート順	日付 昇順 PC 利用申請開始 昇順 PC 利用申請終了 昇順 姓カナ 昇順 名カナ 昇順
ヘッダー行数	1

※同日中の申請が複数存在した場合、複数行出力される
※フォーマット固定

連携設定のサポートを有償でご提供します。

通常初期費用 + **300,000円**

サービス内容

- ・勤怠システム/人事システム→Chronowisへの取込みファイルフォーマットをシステムからの出力CSV項目に合わせてマッピング設定
※Chronowisからの出力ファイルのフォーマットは固定
- ・フォーマットマッピングの設定と検証
- ・勤怠ベンダーとの打合せ参加（必要に応じて）
- ・サーバツールなどの各種設定方法レクチャ、QA対応

オプションメニュー 2. ログアップロード間隔の短縮

勤怠管理を5分単位で行うためのオプションです。

通常ライセンス料 + 月額**50**円/ID (年額**600**円)

サービス内容

- ・PC稼働ログのアップロード間隔の短縮
→15分に1回の稼働実績のアップロードを5分に短縮

効果

当日のPC稼働終了実績のタイムラグが5分に短縮され、勤怠承認時のチェック精度が上昇

※ Chronowisでは、定期的（通常15分、オプションで5分間隔）にPCの稼働状況をアップロードしています。業務終了時などのPCシャットダウンしたタイミングでは、シャットダウン中のログアップロードができないため、実際のPC終了とサーバの稼働状況のログにタイムラグが発生します。
未アップロードのログは次のPC起動タイミングで補正することとなります。

システム連携設定の流れ（通常）

#	項目	詳細・捕捉	担当	備考
システム連携（勤怠システム→Chronowis）				
1	お客様にて手動取込み確認	Chronowis WEBアプリでの手動取込みにて確認	お客様	
2	サーバツールのご提供	ご要望いただき、連携用サーバツールをご提供	弊社	マニュアル、クイックガイド同梱
3	サーバツールの実行検証	手動実行によりサーバツールの動作確認	お客様	
4	取込みタイミングと 取込みデータ範囲決定	スケジュール実行のタイミングを検討 取込み対象の期間を検討（例：勤務予定 当日 + 翌日の2日間）	お客様	サーバ負荷を考慮し、1日2回程度までご調整ください。
5	サーバツールのジョブスケジュール登録	定期実行（自動化）登録	お客様	
6	CSV出力のスケジュール化	勤怠システムからの出力の自動化（方式検討～実現）	お客様	CSVダウンロードの自動化は勤怠システムベンダーとご相談ください。
7	連携検証（スケジュール実行）	出力～取込みまでの一連をスケジュール実行で検証 (本番想定の動作確認)	お客様	

システム連携設定の流れ（連携設定サポート利用）

#	項目	詳細・捕捉	担当	備考
システム連携（勤怠システム→Chronowis）				
1	システム連携のサンプルCSV提供	システム連携のサンプルデータ（CSV）のご提供	お客様	個人情報はマスクしたサンプル
2	CSV取込み検証	サンプルCSVの取込み検証・項目確認	弊社	
3	取込みフォーマット設定	検証した取込みフォーマットを環境に反映	弊社	
4	お客様にて手動取込み確認	Chronowis WEBアプリでの手動取込みにて確認	お客様	
5	サーバツールのご提供	ご要望いただき、連携用サーバツールをご提供	弊社	
6	サーバツールの実行検証	手動実行によりサーバツールの動作確認	お客様	
7	取込みタイミングと 取込みデータ範囲決定	スケジュール実行のタイミングを検討 取込み対象の期間を検討（例：勤務予定 当日 + 翌日の2日間）	お客様 弊社	サーバ負荷を考慮し、1日2回程度までご調整ください。
8	サーバツールのジョブスケジュール登録	定期実行（自動化）登録	お客様	
9	CSV出力のスケジュール化	勤怠システムからの出力の自動化（方式検討～実現）	お客様	CSVダウンロードの自動化は勤怠システムベンダーとご相談ください。
10	連携検証（スケジュール実行）	出力～取込みまでの一連をスケジュール実行で検証 (本番想定の動作確認)	お客様	